

にやさしいくらし

夏を目前に控え、各メディアから、この夏の節電について呼びかけられているが、目では見ることができない電気は、いざ「足りない」と言われてもハッキリ危機感が湧いてこない。そこで今回は、節電をなぜしなくてはいけないのか。そして、どんなことが節電になるのかを調べてみた。

節電の理由は

なぜ節電をしなくてはいけないのか？

○大気中の二酸化炭素を減らすため

○外国に燃料など、物資を依存している

○電気の需要量が供給量を上回る

など、さまざまな理由が出てくるが、真っ先に出るのは地球環境クラスの大きな話。節電の一番大切な理由は「地球環境」のためであり、それが一番良い答えだ。だが、今年の夏は「電気が足りない」。例年と大きく違うのはこの部分だ。足りているものを節約することとは訳が違う。このままだと、全ての家庭に電気が行き

渡らない可能性が出てくる。さまざまなメディアから声高に叫ばれているように危機感を持つことも大切だが「無理なくかしくく」が重要になってくる。

気軽にトライを

「しなくては」ではなく、少し楽に考えて、「したほうがいい」と考えよう。実際、そんなに難しいことをする必要はない。ここで紹介することは一例だが、ずいぶん効果がある。「電気が安くなるからしてみよう」といった気軽な気持ちで節電を楽しんでもらいたい。「家計にやさしい」「地球にやさしい」が節電なのだから。



清掃で効率UP

エアコン

エアコンのフィルターが目詰まりしていると、冷房効果が下がり無駄に電力を使ってしまうので、夏前に一度清掃しよう。また、窓際はカーテンを閉めるなど、冷気を逃がさない工夫を。植物を育ててグリーンカーテンを作るのも流行中。



詰め込み過ぎは厳禁

冷蔵庫

冷蔵庫内を均一に冷やすため、物を整理して冷気の流れをよくしよう。ずいぶん前の食べ残しや常温保存できるもの(缶詰など)が入ってないかチェック。内部の見渡しも良くなるから開閉時間の短縮にもつながる。

